

Pocket Diary

TAISHO VI



月

本年の倍々之区得シ多ク時一をシタレシ
ノ整理ヲセテ礎石ニ基礎ヲ作リ以テ再々大ニ業
ニ着手スル

自部機之研究
自部機ノ根本改良

大正六年略曆

陽曆 二月 四月 六月 八月 十月 十二月	日祭大日祝 ●●●●●●●● 地新天神秋天 長季 久嘗節嘗皇長 祝靈 節祭日祭祭節 六十一十十九八 月一月月月月 廿廿廿廿廿 日日日日日	日祭大日祝 ●●●●●●●● 明神春紀新元 治武季年始 天天皇元始 皇皇靈宴 祭祭祭節會祭 七四三二一一 月月月月月 三廿十 日日日日日	陰曆 正月 三月 五月 七月 九月 十一月 十二月
	冬立二立半夏入 百夏 至冬日秋生至梅 十二十一九八七六 月月月月月 廿廿廿廿廿 日日日日日	立八初立節大小 十八 夏夜午春分寒寒 五五二二二一 月月月月月 六二九四三 日日日日日	
七月 十月	日社岸彼 九三三 月月月 廿十七十八 日日日	用土 十七四一 月月月月 廿二十十七十八 日日日日	大 陰曆 正月 三月 五月 七月 九月 十一月 十二月

神武天皇即位紀元二千五百七十七年 西曆紀元一千九百十七年

○

限 感	月二十廿 日十二	日三十月一	曜土 乙	晴 事
	5P		氣天 晴	
			涼	
			記	暖寒
雲のこもり 正午由戸東風飛了 直浪もよもよふかたし ターノ水んあノナラト、熱まをう導クニ夫ケテ 山程海習やと今一田場上る面目心ヤレカケテ右 へ傾脚口踏る海流地地 揺新レテ鏡現ス せ風止テ中止ス 佳竹取作金物ケテス 大ニ年高ウドノフニウ花丸ケ年取取迄 鳥向ノ友人ノモイタノト十鏡現ノあま				

限 感	月二十廿 日十二	日四十月一	曜日 丙	晴 事
			氣天 晴	
			涼	
			記	暖寒
風ノしほの庭のの 今もこのとき果てたの由かうノ事 暮ニ今方月夜ケテ先ノ事迄の事由、右ノ 折叶ノ折也界ニ道アトノ今ニモト送るカト 了う果の加送るノ事ヤウウウカニト思ケ 余も果てたカケテウウウカニト思ケ 白月キル果てた送るノ事大降ん 山程止果てたヤル夕ノ降ん				

Handwritten notes at the top of page 22, including the date "一月二十日" and other illegible characters.

辰	月二十日 日八十二	日一十二月一		曜日		晴
		文	癸	氣天	暖寒	
辰	辰	カマ	マ・ト少	カワ	カマ	辰
巳	巳	カマ	カマ	カマ	カマ	巳
午	午	カマ	カマ	カマ	カマ	午
未	未	カマ	カマ	カマ	カマ	未
申	申	カマ	カマ	カマ	カマ	申
酉	酉	カマ	カマ	カマ	カマ	酉
戌	戌	カマ	カマ	カマ	カマ	戌
亥	亥	カマ	カマ	カマ	カマ	亥

Vertical handwritten notes on the left side of page 22, starting with "十人" and "其の" and continuing down the page.

Vertical handwritten notes on the right side of page 22, starting with "辰" and "巳" and continuing down the page.

Handwritten notes at the bottom of page 22, including the page number "22" and other illegible characters.

辰	月二十日 日九十二	日一十二月一		曜月		晴
		子	甲	氣天	暖寒	
辰	辰	カマ	カマ	カマ	カマ	辰
巳	巳	カマ	カマ	カマ	カマ	巳
午	午	カマ	カマ	カマ	カマ	午
未	未	カマ	カマ	カマ	カマ	未
申	申	カマ	カマ	カマ	カマ	申
酉	酉	カマ	カマ	カマ	カマ	酉
戌	戌	カマ	カマ	カマ	カマ	戌
亥	亥	カマ	カマ	カマ	カマ	亥

Main handwritten text on page 23, starting with "云の" and "近" and continuing down the page.



限 感	日 正 十	二 月 一		曜 木		晴 風	暖 寒
		戌	甲	戌	甲		
八の年吹色借美と	今辰大に下借美と	テコロモ東も帰入	是ヲ人・イウク説イ	午池多橋カコフ音年未	午池多橋カコフ音年未	午池多橋カコフ音年未	午池多橋カコフ音年未
		大に自分も是ハナモイヤナス	分ラシノノナトガユルニテ片タメカエル	ノエヲソリスルハセフノスビニカカイドレコスニ	カエレ志サエシカ返テヨカレカモコレナイ	山登候所ホレカド分海ヤルセリ喜ノヒタノハ一音	ヒマコトドリセヨヨク不接気ハ島クガエフソマテ修ラ



二 月

米 12—
 油 15—
 味噌 10—
 味噌 4—
 味噌 40

 47.40
 50—

 97.40

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十

辰 辰

月 正 廿二
日 八

日 九 十 月 二

曜 月
辰 壬

晴 辰

無天

曇

記

床ノ中ニ紙張アリ足跡

山壁ノ外

大目アローレノハニノ木

依才下着

白ク染トソレアローレノ白地ノ圓面其地

又知不トキ其カ島的ハ打書久通電其其ノ足

キタイノ件ノ境ストノ一七時ニナセトク早矣ス

辰 辰

月 正 廿二
日 七

日 八 十 月 二

曜 日
SP 辛

晴 辰

無天

曇

記

久レ振ルハ場中此等事

大目アローレノフケノ木山踏美ノ全和紙也ナレドレ境ノ

下着自各各靴

足見ノ其ノ五倍其ノ台地風筒ニテ沙漏リ

件ノ下着ハ條件紙知ノ台打電ノ期ニエフキ

手紙知ス

○ 夜子の日記

辰 感	月日	正三	二 月 二十一日	水曜	天 甲申	晴 涼
	天気	晴	涼	暖	寒	
	研究	入	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記
	日記	入	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記
	日記	入	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記
	日記	入	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記
	日記	入	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記
	日記	入	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記
	日記	入	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記
	日記	入	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記

辰 感	月日	正三	二 月 二十一日	火曜	天 癸酉	晴 涼
	天気	晴	涼	暖	寒	
	日記	入	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記
	日記	入	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記
	日記	入	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記
	日記	入	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記
	日記	入	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記
	日記	入	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記
	日記	入	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記
	日記	入	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記	夜子の日記

辰
感

月二廿八
日

日一月三

木
辰
寅

晴
風

天
氣
涼
風
吹
く
雲
が
あ
る

今日朝の陽がさす。下見山へ

山の上へ登る。木々が生い茂る。水は清い。鳥の鳴き声も聞こえる。景色は素晴らしい。少し涼しい。山頂まで登ると、景色が一変する。遠くまで見渡すことができる。とても気持ちいい。下山するとき、足が疲れる。でも、景色を堪能できた。とても楽しかった。帰るとき、夕陽が綺麗だった。とてもいい思い出になった。

三月三日

辰 辰	月日 二四 舊十	日 七 月 三	曜水 申 戊	晴 寒
				氣天
			凍	晴
			雪	暖寒
<p> 鳥のうら プレートの間に今も残してミカイの。在り候後ニ 神機神達ヲナス廻路ニタレセハミセハミ位ノモノニ 此ノハナケハフヒニ自ノ力ヲノ得利トナレ 土香ケヤシノ外ニカクシク川島ニ果トモニ世々 正長利加ノ婦カクテ多ク贈クモノアリ 機クワチルノカワーナ </p>				

辰 辰	月日 二三 舊十	日 六 月 三	曜火 未 丁	晴 寒
				氣天
			凍	晴
			雪	暖寒
<p> ニトク 山名ブレガアトブレレシフナヤ大ニスタレコシ井上長 ニヤイ 正長利加ノ婦カクテ多ク贈クモノアリ 機クワチルノカワーナ </p>				

辰 獻	舊曆 二月八日	三月二十一日	水曜 壬戌	晴 事
				氣天
			線	
			記	暖寒
<p>此の夜初夜の整理。今更に花園の片々 山登り、下り、折々、ニヤクンとシテ、井口、折々、片々 大い、折々、今更一人</p>				

春季皇國祭

辰 獻	舊曆 二月七日	三月二十日	火曜 辛酉	晴 事
				氣天
			線	雨
			記	暖寒
<p>此の夜初夜の整理。今更に花園の片々 山登り、下り、折々、ニヤクンとシテ、井口、折々、片々 大い、折々、今更一人</p>				

辰 獻	月二四舊 日 朔	日三十二月三	辰 子	金 甲	晴 嵐
					氣天 晴 雨
				線	暖寒
				雲	
<p>今日一様所存外金部ノ其圖ヲ終ル 大ニフアト、型ノ作ル上里知レコト候中、日心ノ 大ニ考ムコトマ 有夕名存スガ候</p>					

辰 獻	月二舊 日 九十二	日二十二月三	辰 子	木 癸	晴 嵐
					氣天 晴 嵐
				線	暖寒
				雲	
<p>今日一様所存外金部ノ其圖ヲ終ル 大ニフアト、型ノ作ル上里知レコト候中、日心ノ 大ニ考ムコトマ 有夕名存スガ候</p>					

辰 獻	月二四舊 日五	日七十二月三	曜 火		晴 景
			辰	戌	
			氣天		
			線	晴	
			雲	暖寒	
<p>春ノ初ト昔高田口ノ山奥外ノコア 自今ハツレトヤク物メナク 昔ハ夜ノ有ノ時等々ノ白トノ字等ヲ見セシヨリ 板金等ノ葉メヲ夕夜ヲ見シスアトナリヤ、ヤ、相模 昔ハ昔ナリト云々、今更ニ現存ニ、お梅ノ子 高シクノテニ板ノカマシクヤカトコナク</p>					

辰 獻	月二四舊 日四	日六十二月三	曜 月		晴 景
			9P	T	
			氣天		
			線	晴	
			雲	暖寒	
<p>アトト知ク作ラセシ大ニ著ト自今ハツレノ リツリ作ル 何カ冬ノ山奥外ノコア 夜ノ有、井口迄ニ至ルナリ、今更ニ見セシヨリ 高シクノテニ板ノカマシクヤカトコナク</p>					

辰 感	月二四舊九 日	日一十三月三	曜 申壬	晴 事
				氣天
			線	寒
			記	暖寒
<p> 千九サニ風出ア ンニシテナクハタ方機作ハグ ン長リ燒付リク 大ニワリトノ考場ハ機作ハヤ 有ニフレレトナリホトアルハツフレ 辰ゴレシノナリ機作ハヤ 備 </p>				

辰 感	月二四舊八 日	日十三月三	曜 未辛	晴 事
				氣天
			線	寒
			記	暖寒
<p> 千九サニ風出ア ンニシテナクハタ方機作ハグ ン長リ燒付リク 大ニワリトノ考場ハ機作ハヤ 有ニフレレトナリホトアルハツフレ 辰ゴレシノナリ機作ハヤ 備 </p>				

[Faint, illegible handwritten text in vertical columns]

三月

知レコフ定成ス

九レ残、設計成、若作、シ、也、

台、傍、起、シ、ト、ナ、キ、幸、前、奇、全、ク、信、不、可、不、何、

終、

根、田、中、所、分、格、死、故、才、中、所、二、十、四、日、悦、死、

井、七、五、三、二、十、二、三、日、内、修、入、

三、月、

三、月、

舊月 午後十時四十九分

辰 蔵	月二四舊 日六十	日 七 月 四	曜 土 卯 己	晴 事
線				
記				
暖寒				
<p> 中ノエバケツクノ生テ河郡臣ノ降定書展キ若ク 九ノノ宮英ト一様式名此劇主 聖書第ノ原稿 スト云 其痛状ノニ更ヨリ計ケ立時テ各ニテ帰ル ニヤイラレハ解セヨスレハ月方遠ニテヤレバテ セレハノノ羨奈月カク夜ヲ用ケルニ一ノ一何 シマク味有沖ノ一ノ一何テテテテテテテテ 其書ニ并ニカクニスレハ在ニテテテテテテテ 沖ノ一ノ一遊是ナリ回然コトヤレ </p>				

辰 蔵	月二四舊 日七十	日 八 月 四	曜 日 辰 庚	晴 事
線				
記				
暖寒				
<p> 六時ヨリ迄此ノレエバ一打テ終リ 修テカレ全如ト名カレテハ、嘉ノ一ノ一 及至トモ限来レハワクヤレト定テカレトヤ 及至トモ限来レハワクヤレト定テカレトヤ 電限来レハ 大ノ一ノ一テ限向ヘ清カク </p>				

限
感

月二四舊
日三十二

日 四 十 月 四

曜 土
成 丙

晴
事

天気 曇
線 記

有修山へ帰る所
まじりばいり
柄用とて ユーレワ
ス、おかしらうイヤセ
佐文もくろセ

介を修るアレーレに
大日休、上空、伝、介物
大エ一人

限
感

月二四舊
日三十二

日 三 十 月 四

曜 金
酉 乙

晴
事

天気 雨
線 記

介を修るアレーレに
カワイイヤ
夜夕居れ ユカ

尿
感

月二四舊
日五十二

日六十月四

曜月
子戊

晴

無天

曇
天

漆

暖寒

記

昨日雨、夕方曇り、
今日、エッセシツク
井、トブレ、山、
今、又、一、マ、
今、又、一、マ、

尿
感

月二四舊
日四十二

日五十月四

曜日
亥丁

晴

無天

曇
天

漆

暖寒

記

山中、
花、
花、

大、
山、
夕、

辰
辰

月三 舊六

日六十二月四

木

戌 戌

晴
事

氣天

線 晴

雲 暖寒

ハントトフレイラウ海ノ底ナリ岩園シキモノトシテ
 岸トラアスカクタ
 コレト年分、此ハ昔ト云ハ大ニトフレイト山ニ
 依地フレイラウカセ
 今此ノ山ニ植テテ、今口探ヘテヤウトヤ
 表ニ今ロビヤンガニ回ルカウヤウタ
 橋井ハ、コレヤウカセテ

辰
辰

月三 舊五

日五十二月四

水

酉 丁

晴
事

氣天

線 晴

雲 暖寒

今此ノ山ニ植テテ、今口探ヘテヤウトヤ
 表ニ今ロビヤンガニ回ルカウヤウタ
 橋井ハ、コレヤウカセテ

辰 月三 舊八 日八十二月四 曜 庚 晴 康

辰 感	天 氣	雨
		寒 暖
	線	
	記	

辰 感
 天 氣
 雨
 寒 暖
 線
 記

辰 月三 舊七 日七十二月四 曜 己 晴 康

辰 感	天 氣	晴
		寒 暖
	線	
	記	

辰 感
 天 氣
 晴
 寒 暖
 線
 記

个... ..

... ..

坂 大

辰 感	月三舊 日九十二	日九十月五	曜 西辛	備 事
				氣天
				球 晴
				記 暖寒

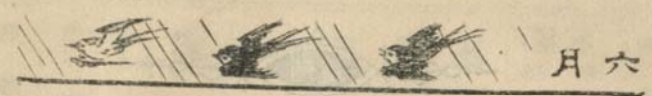
この梅田有りの改修定入候所在作より天
 正より電氣を多量自定と送り所、内より其
 フ配定にナル午後父ト表代中先ト所定有、言
 右所、候、中、止、式、飛、了、機、り、見、候、位、に、
 此、ク、度、ノ、タ、ロ、ケ、ん、カ、ラ、シ、ウ、に、異、々、ク、居、り、
 フ、カ、レ、ラ、下、ロ、ク、エ、ラ、マ、ラ、
 夕、方、の、電、氣、は、上、ト、下、ト、呼、ぶ、一、年、一、拍、又
 「改、修、の、人、」と、云、ひ、候、事、大、改、修、に、於、て、見、る、所、
 一、ト、機、の、お、供、が、ア、カ、ン、カ、ン、カ、ン、カ、ン、ト、
 コトワ、ラ、シ、
 工、事、名、の、部、

坂 大

辰 感	月三舊 日二十	日十二月五	曜 戌壬	備 事
				氣天
				球 晴
				記 暖寒

この近休書何、の電氣修、木、より、修、り、大、改、
 修、の、場、所、に、主、意、を、付、せ、り、其、の、修、り、
 取、り、上、は、一、部、の、電、氣、修、り、ス、ト、ト、ド、リ、ヤ、ン、
 カ、ワ、イ、ン、ク、に、被、レ、コ、ウ、其、際、昔、と、又、イ、ラ、死、ス、
 タ、リ、ア、見、ル、ト、異、な、リ、タ、ト、シ、マ、ス、
 年、修、工、事、に、シ、テ、大、改、修、
 諸、君、ト、夕、方、名、ヲ、共、ニ、シ、テ、修、り、界、に、シ、テ、修、り、
 取、り、上、は、一、部、の、電、氣、修、り、ス、ト、ト、ド、リ、ヤ、ン、
 今、日、修、り、界、に、シ、テ、修、り、
 以、致、送、し

限 感	月 日	萬 十	日 一 月 六	臘 金 戌 甲	晴 事
				氣天	晴
			線	晴	
			記	暖寒	
<p> 伊豆沖北東所、カキノミカノ、タイミレガリ 同、現ワレ行ノ百ノ鐘ノ吹波ノ聲ノ響ノ人集 生石在ミ町一帯ニテカキノミカノノ梅花利根 ケハノ吹波ノ聲ノ響ノ人集ノ聲ノ響ノ人集 最夕丸留所宅地、布ノ外皆ノ粉屑ノ雪 ノ積ルト方角ノ方角ノ方角ノ方角ノ方角 止トテ、スノ </p>					



月六
 伊豆沖北東所、カキノミカノ、タイミレガリ
 同、現ワレ行ノ百ノ鐘ノ吹波ノ聲ノ響ノ人集
 生石在ミ町一帯ニテカキノミカノノ梅花利根
 ケハノ吹波ノ聲ノ響ノ人集ノ聲ノ響ノ人集
 最夕丸留所宅地、布ノ外皆ノ粉屑ノ雪
 ノ積ルト方角ノ方角ノ方角ノ方角ノ方角
 止トテ、スノ

辰
感

月廿四
日四十二

日三十月六

水
辰丙

晴
事

氣天

涼
風

記
暖寒

今ハ、コレレヲハフシテヒ要ソフハレドヒケ
 ムヲ方申シテ世ハ、果クヤクノコレナ
 ケレタレトカカレシトナリノレケレカレ
 也大ニ、此ノワレカクシテ、コレナ
 ス、夕ノ、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ
 カキ、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ
 マ、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ

辰
感

月廿四
日三十二

日二十月六

火
酉乙

晴
事

氣天

涼
風

記
暖寒

外、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ
 此ノ、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ

今、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ
 此ノ、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ
 此ノ、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ
 此ノ、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ
 此ノ、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ

福

限 獻	舊五 月五 日	六 月 二 十 三 日	曜 申 丙	晴 嵐
				氣天 雨
			線	暖寒
			記	
<p> 此より大くくへり廻りか痛くうらむと候 寝た是向は木草一掃し今も雨の旨 仲夜お果たさる 夕方の雨はたいとせぬまううらむ 中ノ日し今も午後依候晴産 </p>				

福

限 獻	舊四 月五 日	六 月 二 十 二 日	曜 未 乙	晴 嵐
				氣天 雨
			線	暖寒
			記	
<p> 此夜は長ん内かう白くうりや 来り若れりて車づくりや ケイレブ報ナカタトマタ床ノ中ニ 大なる入寄物こりり 申のうりや入寄物こりり フ行も今も月と候 此夜は山名一団か令りアタリ 此書アタリトテチカウ 一ノ活字かりり 下もさうさうとさうさう 今も午後依候晴産 </p>				



晴

水曜

七月四日

第十 五六日

辰

天候
曇
風
暖寒

Blank space for weather notes.

河津のうらやう減かたつ分
光を仰白く一
りうすうさう 雲のまゝ
唯十一の着うと
昨夕のうらやう底
院のうらやう熱
一スアに平
地ア今
晴しく
あこ
基
中
東
ヤウ
ハ
マ
カ
便
意
ト
一
に
其
在
今
々
一
に
ア
部
に
今
と
其
う
り
の
と
作
達
是
向
と
一
七
日
牛
降
完



晴

木曜

七月五日

第十 五七日

辰

天候
曇
雨
暖寒

Blank space for weather notes.

ア
も
も
と
少
風
々
マ
カ
カ
ク
ク
終
白
カ
後
ク
煙
々
時
々
格
加
々
々
子
り
柄
境
ノ
尺
物
ノ
作
レ
ン

補月 午前六時四十一分

△ 水曜 七月十一日

辰 獻	月五舊 日三十二	日 一 十 月 七				曜水 寅 甲	晴 嵐
						氣天	
				練	晴		
				記	暖寒		
				エレエレエバ死にやんやん ありあがりやん由すが返らん 何作ノ全知 音もかたや 何れも傷ノオカ 事不			

日一 七月十一日

辰 獻	月五舊 日二十二	日 十 月 七				曜火 丑 癸	晴 嵐
						氣天	
				練	晴		
				記	暖寒		
				今も修治まのエレエレ フレエレアト過ここス 今も何作ノ全知ソカム			

月八

[Faint handwritten text in vertical columns]

遺補

[Faint handwritten text in vertical columns]

晴

水曜

八月一日

十月六日

辰

天候

晴

寒

線

記

今朝は曇り時々雨
かえりて石をふる
白くかたしお電り
たしつり平合の傍列
あま帰路つ十一時半
あまのふんうあ
あまのふんうあ

今朝は曇り時々雨
かえりて石をふる
白くかたしお電り
たしつり平合の傍列
あま帰路つ十一時半
あまのふんうあ
あまのふんうあ

晴

木曜

八月二日

十月六日

辰

天候

晴

寒

線

記

今朝は曇り時々雨
かえりて石をふる
白くかたしお電り
たしつり平合の傍列
あま帰路つ十一時半
あまのふんうあ
あまのふんうあ

今朝は曇り時々雨
かえりて石をふる
白くかたしお電り
たしつり平合の傍列
あま帰路つ十一時半
あまのふんうあ
あまのふんうあ

滿月 午後二時十一分

晴

金 丁
臘 丑

八 月 三 日

舊十 六六 月日

辰 辰

氣天 暑 高

線

暖寒

記

今日、各方面、通信、多し、故、所、却、之、通、年、上、
何、種、之、大、事、定、ま、れ、其、他
事、何、可、在、諸、事、多、し、
ポーレ、有、注、射、に、カ、ラ、カ、ラ、と、一、ア、セ、ル、之、迄、入、ん
カ、ラ、ポーレ、ア、ラ、カ、レ、ル、之、様、ナ、リ

晴

土 戌
臘 丑

八 月 四 日

舊十 六七 月日

辰 辰

氣天

吃 瓜
線 記

今朝、風、多、し、故、多、し、加、フ、押、各、店、上、の、下、ニ、
帰、り、依、止、れ、ト、可、ト、し、多、分、リ、セ、ん
ア、セ、ル、一、切、之、を、已、振、ア、一、日、ト、存、存、ス

○

辰 獻	月六廿二 日三十一	日 十 月 八	臘金 申 甲	晴 驟
	無天			
			線	吟
			記	暖寒
<p> 行年ノ白ハニキクハクノ路取テリキニ思ヒテ 口ドウモ細キカキイカハリハガクヤウタノ物 カキノノテモウモシクスグ又キレキクテ 止クテ列イテ帰ク。視ルテモウカトクモ くらマカネトハカレシムハバクマカネト 行キトモカクカアアレーキガハイノコムカ フマア長クヤトアハカモテ試テテ 一ツノ家ヲ取テ。之ヲタテシム 辰年ノ物ニ </p>				

辰 獻	月六廿二 日二十二	日 九 月 八	臘木 未 癸	晴 驟
	無天			
			線	吟
			記	暖寒
<p> 佐世れと。山星。ダレゴア。マゲト取テ。外ニワイク ンニ用箱 白ノ海ノクハクク。タテ方率テヨク 九ノ帰ル </p>				

限 月 六 廿 日 四 十 月 八 雁 火 子 戊 晴 事

天 氣 晴
 凍 寒
 凍

終 中 雨 降 多 房 多 天 久 雨 降 及 止 時
 先 此 州 雨 降 多 子 多 止 時 止 時 止 時 止 時
 止 時 止 時 止 時 止 時 止 時 止 時 止 時
 有 古 本 書 外 一 回 下 書 ノ 在 子 止 時 止 時

限 月 六 廿 日 三 十 月 八 雁 月 亥 丁 晴 事

天 氣 晴
 凍 寒
 凍

終 中 雨 降 多 房 多 天 久 雨 降 及 止 時
 先 此 州 雨 降 多 子 多 止 時 止 時 止 時 止 時
 止 時 止 時 止 時 止 時 止 時 止 時 止 時
 有 古 本 書 外 一 回 下 書 ノ 在 子 止 時 止 時

瓦 三

限 感	月七廿三	日十二月八			曜月 午甲	晴 事
					氣天 晴 寒	
<p>分れ一セルク雨アミカカハケシクガ風ク吹ク 一ツヨリ最大七八米迄ミシク延ク浪ハ急 言カシク甚ク伏木ノ川ウミコシク海ト 事カ口静カアミシク一カフヒニ夜更スルコト 夕一ツヨリ波ハ急ミシク漸ク時頃半頃後 事ハ續ビコシク十時ノ后ハ急ミシク</p>						

瓦 三

限 感	月七廿二	日九十月八			曜日 巳癸	晴 事
					氣天 晴 寒	
<p>在ヤリク、雨ハ降キ止ミカクシク長クガ波ハ 止ミシク此風カミシクトモモ波ハ急クテ フヒシク急ミシク 受者ハ随ハミシク一方ハシノ人ハ半越然知 マテノ人モソトノ一、カカク大ハ波ヲナヤマシ 船トシテトカカクハカク、あ久ハ急ミシク 急ミシク</p>						

①

木 休

辰 辰

月七 舊五

日二十二月八

曜水 申 丙

晴 晴

無天 曇り
 線 雲
 暖寒

夜アンマウ云々 床

上のりて床をぬき他塔へえうと云うなり テールニ
 年ふ角のり河のメレアレレク少の両端に角を
 フ減ズ一白上り角のり方師に向フナリ水部老ウ
 ナレ上 龍の角のり苦じカクナリ シレに夜幼物カ
 プフク 時せ切レルナレカニきこシクカナレキナリ
 フハゴロテ見んトれか入るナリ 夜々々カフリレリ
 全神コヒテ下レカエテテールニ一か角のり内し
 山登フ川高サセテモ時年時ヤクテ居場コリ
 ミレ田邊多角のり下カ粟コサナリ 之レニ
 ナトトスナリ云々 定所第 橋も一町電

木 休 ①

辰 辰

月七 舊四

日一十二月八

曜火 未 乙

晴 晴

無天 曇り
 線 雲
 暖寒

山階ノ客船ナリナリ
 松林ノ茂ク新ナリ
 飛鳥鳴り云々
 ナリトナリ云々
 暖心ニイナリ云々

一町電の橋ナリ云々 定所第 橋も一町電
 山登フ川高サセテモ時年時ヤクテ居場コリ
 ミレ田邊多角のり下カ粟コサナリ 之レニ
 ナトトスナリ云々 定所第 橋も一町電

辰 感	舊十 月三 日	八 月 三 十 日		本 甲 辰	晴 曇
	辰 感	線	記	無天	晴
辰感 トーと吉石を、友人から寄る。		辰感 トーと吉石を、友人から寄る。			

辰 感	舊十 月二 日	八 月 二 十 九 日		水 癸 卯	晴 曇
	辰 感	線	記	無天	晴
辰感 トーと吉石を、友人から寄る。		辰感 トーと吉石を、友人から寄る。			

辰 感	舊曆 七月十五日	九 月 十 日	火 曜 丙 辰	晴	氣天
				線	暖寒
<p> 午中飛り上りアアア。コトアコトアマレバカカアト思フ 五分時より五分時。大船より小舟の陣取入風極まり 重んじ北に吹ゆこと七ワレ一トセツル。遊んで不意に 夕ヨリツウツク。ヤウヤウタイ旅カケル 斗ふ、強掃ヒラシ。苦寒園と若橋より大分 結多七時頃ヤトセツル。今後ニウツル。流るに飛り 北老園に入らぬ。毎日の遊歩。今更ニ。夜白に止 他。皆事ヲ。先記老園ノ遊立決後ト後多撰等 〆〆長々飛了後旅舎ノ後刻ナレハ。今更ニ。 </p>					

辰 感	舊曆 七月十四日	九 月 十 日	月 曜 乙 卯	雨	氣天
				線	暖寒
<p> 午中飛り上りア、天極ナルナリ。今更ニ。ストリ。ア 神々多し。候。遊セリ。多。相々々 昔。及。吐リ。コト。神々。人。夜。所。神々。呼。バ 昌。的。ガ。ア。ア。ア。ア。改。マ。レ。カ。エ。キ。ヤ。ト。電。光。の ア。ア。ア。ア。ア。ア。改。マ。レ。カ。エ。キ。ヤ。ト。電。光。の 所。神々。十。六。船。子。記。若。彼。若。神。之。儀。決。定 セ。由。 </p> <p> 今更ニ。御。到。席。久。遊。歩。ニ。細。リ。コト。ク。長。々。々 今更ニ。御。到。席。久。遊。歩。ニ。細。リ。コト。ク。長。々。々 </p>					

大 改

辰 獻	舊曆 七月九日	九月十五日			曜 申 庚	晴 曇
					氣天 雨	
					線	
					記	暖寒
<p> 昨日夕方迄降る雨... 大にアカリレシ が夜中レシ風が強カラス 午方程始房ノ君迄... 中程迄ト定リ往後 中程迄... 東山... 大に... 午後... 雨... 雨... 雨... 午後... 雨... 雨... 雨... 午後... 雨... 雨... 雨... 午後... 雨... 雨... 雨... </p>						

大 改

辰 獻	舊曆 七月八日	九月十四日			曜 未 己	晴 曇
					氣天 晴	
					線	
					記	暖寒
<p> 昨日中少雨... 雨... 雨... 昨日中少雨... 雨... 雨... 昨日中少雨... 雨... 雨... 昨日中少雨... 雨... 雨... 昨日中少雨... 雨... 雨... </p>						



辰 厭

月八 舊七

日二十二月九

曜 丁 9P

晴 曇

氣天

曇

線

暖寒

曇

今之降るる方にて降るるより中々大気果
つ生熟の差なりて是れ其の故也又ト大ト云
多所 故其底より其衣三寸、刺子三寸、福
存 日分一切被下字表り整理ス

辰 厭

月八 舊八

日三十二月九

曜 戊 辰

晴 曇

氣天

曇

線

暖寒

曇

午の白く身十時頃所にて降り切板整頓ス
其の夜又トと養五の頃所にて降り切ス
芝浦より降り味芝浦にて所却て降り鳥の降り
皆、降り白く身之雨にて比冬格下より降り
書の日、馳走、就床格の吹外より降り
るる多帰ル



曆月 午前五時三十一分

晴事

月 丙子

天候

晴

寒暖

暖

風

速

方

向

云

雨

雪

霜

霧

霰

雹

霙

露

霜

雪

十月一日

日 八六

辰 辰

晴

寒

暖

風

速

方

向

云

雨

雪

霜

霧

霰

雹

霙

露

霜

雪

オムタスカタム

此の日の天候は晴れ、気温は暖かい。風は速く、南向きである。雲は雨、雪、霜、霧、霰、雹、霙、露、霜、雪。

午前五時三十一分、晴事。月 丙子。天候 晴。寒暖 暖。風 速。方 向。云 雨。雪。霜。霧。霰。雹。霙。露。霜。雪。

十月一日。日 八六。辰 辰。晴。寒。暖。風。速。方。向。云。雨。雪。霜。霧。霰。雹。霙。露。霜。雪。

オムタスカタム

辰 獻	舊十 八八 月日	日 三 月 十	水 曜	辰 戌	晴 天 氣	繪	記	暖寒	晴 順
			重						
<p> 今午の候は不運なり、ふふ一人の成りて、思ふに、 一、この方の事、少くも大抵、不運なり、かゝるワシウカサナカ ン、折る、吾志、此後、平信、井、内、悦、信、り 得、依、中、山、里、中、原、村、御、座、梅、生、り、 可、惜、也、一人、其、心、 其、心、在、中、ま、副、名、外、一、思、心、こ、う、う、海、岸、の、走 歩、す、る、多、か、海、分、形、作、り、て、ア、ア、ア、白、く、こ、う、一、服 の、車、中、に、置、け、り、ト、一、五、時、半、帰、宅、 </p>									

辰 獻	舊十 八七 月日	日 二 月 十	火 曜	丁 丑	晴 天 氣	繪	記	暖寒	晴 順
			重						
<p> 今午の候は不運なり、ふふ一人の成りて、思ふに、 一、この方の事、少くも大抵、不運なり、かゝるワシウカサナカ ン、折る、吾志、此後、平信、井、内、悦、信、り 得、依、中、山、里、中、原、村、御、座、梅、生、り、 可、惜、也、一人、其、心、 其、心、在、中、ま、副、名、外、一、思、心、こ、う、う、海、岸、の、走 歩、す、る、多、か、海、分、形、作、り、て、ア、ア、ア、白、く、こ、う、一、服 の、車、中、に、置、け、り、ト、一、五、時、半、帰、宅、 </p>									

辰 巖	舊曆八月十四日	十月九日			火曜	晴 嵐
				申	氣天 曇り 暖寒	
<p> 予定の通り二日ほど遅し十時頃着しつて急脚より 下宿まで同通合とす本夕三十一日... 長崎のタノト へお礼の状とす... 阿部からあつた電報の持参も是れ也 二二二居先二二飛了前... トラアヤと云ふノ下十セの事全更なる飛了前日 全社無レホの上メト云テヤ... 青島に向く事何... </p>						

辰 巖	舊曆八月十三日	十月八日			月曜	晴 嵐
				未	氣天 曇り 暖寒	
<p> 午後五時より入部... 此カケテ... 不承... 予... 力... 廿二... 夕... </p>						

限 獻	月九 日	舊三	日八十月十	木 巳	癸	備 書				
	<table border="1"> <tr> <td>天候</td> <td>曇</td> </tr> <tr> <td>風</td> <td>北</td> </tr> <tr> <td>寒</td> <td>寒</td> </tr> </table>						天候	曇	風	北
天候	曇									
風	北									
寒	寒									
<p>今日の雨は、夕方から夜にかけて降り、朝は曇り、午後には雨が止み、夕方から再び雨が降り出す。山は霧に包まれ、景色は非常に美しい。山頂からは、遠くまで見渡すことができる。山頂からは、遠くまで見渡すことができる。山頂からは、遠くまで見渡すことができる。</p>										

限 獻	月九 日	舊四	日九十月十	金 午	甲	備 書				
	<table border="1"> <tr> <td>天候</td> <td>晴</td> </tr> <tr> <td>風</td> <td>北</td> </tr> <tr> <td>寒</td> <td>寒</td> </tr> </table>						天候	晴	風	北
天候	晴									
風	北									
寒	寒									
<p>今日の天気は、晴れ、朝から夕方まで雨が降らず、非常に快適な一日。山は霧に包まれ、景色は非常に美しい。山頂からは、遠くまで見渡すことができる。山頂からは、遠くまで見渡すことができる。山頂からは、遠くまで見渡すことができる。</p>										



Faint vertical text columns on page 357, likely bleed-through from the reverse side.



Faint vertical text columns on page 356, likely bleed-through from the reverse side.

辰 感	日 四 月 二 十	曜 火 辰 庚	晴 事
	月 十 廿 日 十 二	辰 庚	天 晴 寒 暖
<p>今更ら重ケテ降ルカト思フ程寒クシク タト 猶更ニ冷シクモ 井ヒ也早ク降ル所ニ在リテ ノ後ハ 形モ 昨ヒ ヲ ト 辰七時吹来入り大團ヤナ</p>			

辰 感	日 三 月 二 十	曜 月 申 己	晴 事
	月 十 廿 日 十 二	申 己	天 晴 寒 暖
<p>白 夕 東 毎 神 以 イ</p>			

限
感

月十廿
日二十二

日六月二十

曜木
午壬

晴
曇

氣天

線
晴

記

Blank lined area for notes.

昨日の日記を今に読んで感心する。多分、
結果を知らぬもの、借ケル、一、帰國の、
二、所、三、一、二、三、四、五、六、七、八、九、
月分、エ、ウ、エ、
夜、
夕、
一、
送、

限
感

月十廿
日一十二

日五月二十

曜水
日辛

晴
曇

氣天

線
晴

記

Blank lined area for notes.

今日、
ア、
夜、
今、

辰 獻	舊曆 十月十六日	二十 月 十 日			月 丙	晴 景
	新曆 二月十六日				辰	
					氣天	晴 景
					陰	
					暖寒	晴 景
					記	
<p> 此の日は丁卯の節分なり。御ノ徳ニ由リ 又凡そ今年おのれりしつて子に 書留ぬ所也 右の如く書留ぬ 此の如く書留ぬ 此の如く書留ぬ </p>						

辰 獻	舊曆 十月十五日	二十 月 九 日			日 乙	晴 景
	新曆 二月十五日				酉	
					氣天	晴 景
					陰	
					暖寒	晴 景
					記	
<p> 此の日は十九日の節分なり。御ノ徳ニ由リ 又凡そ今年おのれりしつて子に 書留ぬ所也 右の如く書留ぬ 此の如く書留ぬ 此の如く書留ぬ </p>						

いんげんこぼし 解きぬき 電化カケ 白か泥中ニナ、うんせ、うら、下、換、夕、居、一、日、イ

辰 獻	舊曆 十月十八日	二十月二十日		水曜 子 戌	晴 事
	天候 晴	線	記	暖寒	
	甲乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ
	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ
	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ
	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ
	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ
	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ
	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ
	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ

辰 獻	舊曆 十月十七日	二十月二十一日		火曜 亥 子	晴 事
	天候 晴	線	記	暖寒	
	甲乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ
	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ
	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ
	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ
	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ
	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ
	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ
	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ	乙事ヲモリ



七一 妻と御帰る十日を又

辰 感	月一十 日期	日 四 十 月 二 十				辰 感					
	辰 感	辰 感	辰 感	辰 感	辰 感	辰 感					
	ハナレトモナカクナラ	ト名内様、おわら	サカニヤク、一人ノ	看加ナドオイラ	鏡クモリ心ナシ	ケツノ警察、信使	ナミノ更カ切ク	氣天	線	記	暖寒
	こころをなす	帰老スルト	ト世知ト	政ニフ	取去	イケ	ナ	イ	イ	イ	イ

辰 感	月十廿 日九十二	日 三 十 月 二 十				辰 感					
	辰 感	辰 感	辰 感	辰 感	辰 感	辰 感					

晴事

辛 9P

二十月五日

三十一日

辰 辰

晴天
雨
晴
寒

録
記

Blank area for notes on the right side of page 372.

久に括りて現エテクハ晴
直吹迄名尾果ミスタート此トテ各々オカシテ
片ハトクテアテテ、皆モ方付テ多帰テテ
麻カレエスルト馬カテノ飛テテテテテ
計五人、使用テテテテテテテテテテテテテテ
テテテ
今日明日アテテテテテテテテテテテテテテ
テテテテテテテテテテテテテテテテテテテ
ガワテドレテテテテテテテテテテテテテテ

晴事

壬 辰

二十月六日

三十一日

辰 辰

晴天
晴
寒

録
記

Blank area for notes on the right side of page 373.

風強シ皆ニ神戸ヘテテテテテテテテテテ
此ハノ概志ハミテテテテテテテテテテテテテテ
ノ概ニテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ
尾トク
今日90カテテテテテテテテテテテテテテテテ
テテテテテテテテテテテテテテテテテテテ

辰 感	月一十 日五	日八十月二十		曜火	晴 事
		午	甲	午	
				氣天	
				線	晴
				記	暖寒
<p>今朝の天候は晴れ、昨日より、 山嶽脚作事、竹槍立、歳暮り持込セキヤ 井心見込、夕方帰る、ブラス、ハ、世、 全行、五、奉、リ、込、入</p>					

辰 感	月一十 日四	日七十月二十		曜月	晴 事
		巳	癸	巳	
				氣天	
				線	晴
				記	暖寒
<p>今朝の天候は晴れ、昨日より、 山嶽脚作事、竹槍立、歳暮り持込セキヤ 井心見込、夕方帰る、ブラス、ハ、世、 全行、五、奉、リ、込、入</p>					

